

取扱いの趣旨

ドレーン法の持続的吸引を行うものは、術後の滲出液が多い手術や胸腔ドレナージなどにおいて、吸引留置カテーテルや套管針カテーテルを使用して持続的に吸引するものであり、当該カテーテルの算定がない場合は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】

《令和6年4月30日》

116 ドレーン法（ドレナージ）（持続的吸引を行うもの）の算定について

○ 取扱い

処置時、持続的吸引を行うことが可能なカテーテル等※の算定がない場合のJ002ドレーン法（ドレナージ）「1」持続的吸引を行うものの算定は、原則として認められない。

※ 025套管針カテーテル、029吸引留置カテーテル等

○ 取扱いを作成した根拠等

J002ドレーン法（ドレナージ）は、各種の体液や膿汁等を体外に誘導排除するものであり、中でも「1持続的吸引を行うもの」は、術後の滲出液が多い手術や胸腔ドレナージなどにおいて、吸引留置カテーテルを使用して持続的に吸引するものである。

以上のことから、上記カテーテル等の算定がない場合のJ002ドレーン法（ドレナージ）「1」持続的吸引を行うものの算定は、原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	高知、和歌山、宮崎、新潟、広島、鹿児島、岩手、鳥取、福岡、佐賀、埼玉、茨城、兵庫、沖縄	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	新潟、和歌山、鹿児島、佐賀、高知、兵庫、茨城、広島、宮崎、埼玉	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	鳥取、新潟、高知、宮崎、広島、沖縄、岩手、埼玉、茨城、福岡、兵庫	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・縦覧情報やコメント等より、前月以前又は他院で手術が実施され、持続的吸引を行うことが可能なカテーテルが使用されていると確認できることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年9月～2024年11月審査分

該当件数に対する検証結果

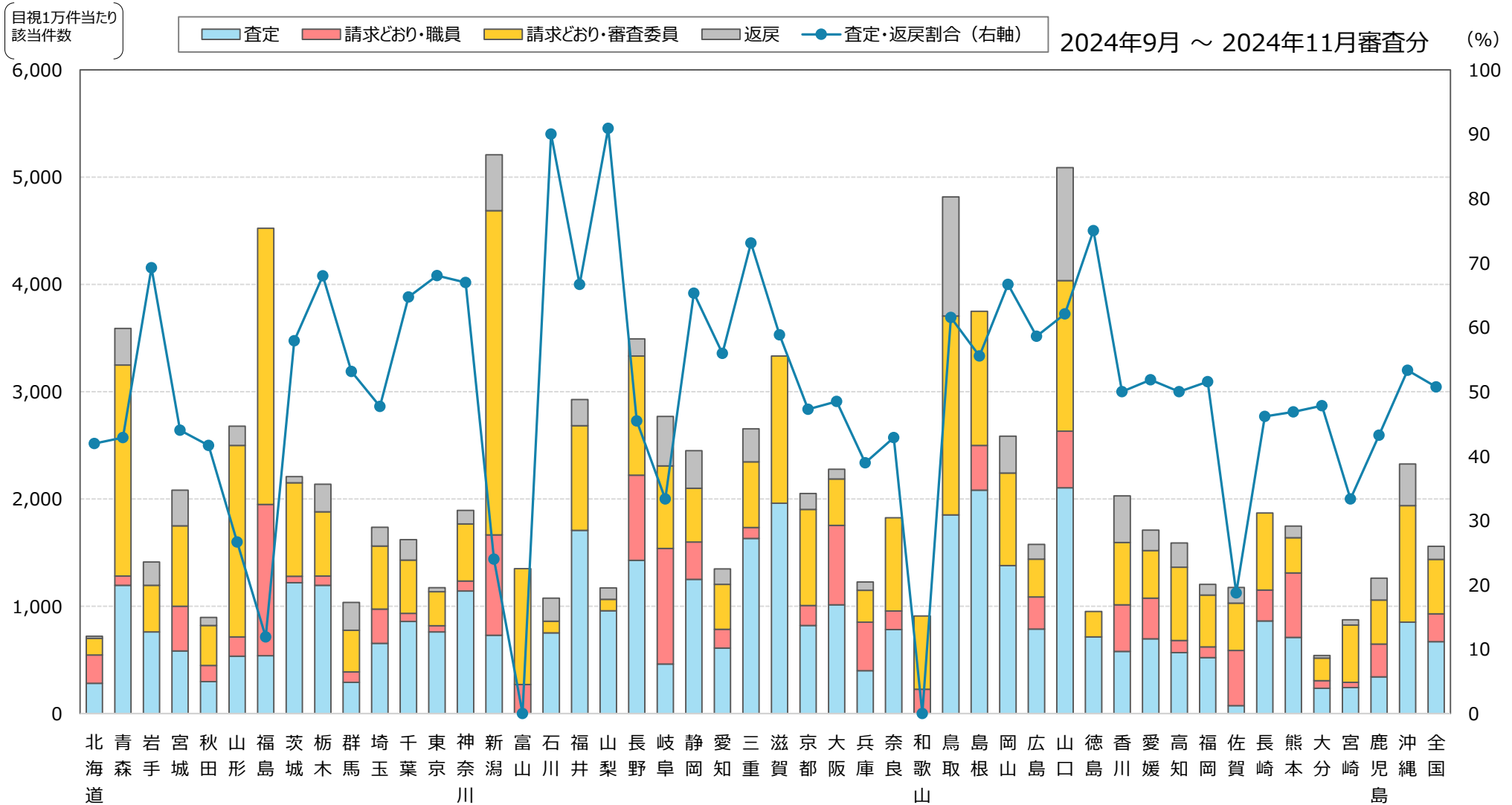
検証の結果、該当件数2,193件のうち、取扱いと異なる審査は134件（6.11%）
検証対象46都道府県のうち、フォローアップ対象は14都道府県

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	143	141	98.60%	56	4	60	81	2	1.40%	1	1
02 青森	42	38	90.48%	14	4	18	20	4	9.52%	1	3
03 岩手	13	11	84.62%	7	2	9	2	2	15.38%	0	2
04 宮城	50	50	100.00%	14	8	22	28	0	0.00%	0	0
05 秋田	12	12	100.00%	4	1	5	7	0	0.00%	0	0
06 山形	15	15	100.00%	3	1	4	11	0	0.00%	0	0
07 福島	109	108	99.08%	13	0	13	95	1	0.92%	0	1
08 茨城	38	34	89.47%	21	1	22	12	4	10.53%	1	3
09 栃木	25	25	100.00%	14	3	17	8	0	0.00%	0	0
10 群馬	32	31	96.88%	9	8	17	14	1	3.13%	1	0
11 埼玉	130	114	87.69%	49	13	62	52	16	12.31%	1	15
12 千葉	85	78	91.76%	45	10	55	23	7	8.24%	1	6
13 東京	222	218	98.20%	144	7	151	67	4	1.80%	3	1
14 神奈川	121	119	98.35%	73	8	81	38	2	1.65%	1	1
15 新潟	50	40	80.00%	7	5	12	28	10	20.00%	6	4
16 富山	5	5	100.00%	0	0	0	5	0	0.00%	0	0
17 石川	10	10	100.00%	7	2	9	1	0	0.00%	0	0
18 福井	12	12	100.00%	7	1	8	4	0	0.00%	0	0
19 山梨	11										
20 長野	22	22	100.00%	9	1	10	12	0	0.00%	0	0
21 岐阜	18	18	100.00%	3	3	6	12	0	0.00%	0	0
22 静岡	49	45	91.84%	25	7	32	13	4	8.16%	3	1
23 愛知	84	82	97.62%	38	9	47	35	2	2.38%	2	0
24 三重	26	26	100.00%	16	3	19	7	0	0.00%	0	0
25 滋賀	17	17	100.00%	10	0	10	7	0	0.00%	0	0
26 京都	55	52	94.55%	22	4	26	26	3	5.45%	3	0
27 大阪	200	189	94.50%	89	8	97	92	11	5.50%	6	5
28 兵庫	95	84	88.42%	31	6	37	47	11	11.58%	6	5
29 奈良	21	21	100.00%	9	0	9	12	0	0.00%	0	0
30 和歌山	4	3	75.00%	0	0	0	3	1	25.00%	1	0
31 鳥取	13	11	84.62%	5	3	8	3	2	15.38%	0	2
32 島根	9	9	100.00%	5	0	5	4	0	0.00%	0	0
33 岡山	30	30	100.00%	16	4	20	10	0	0.00%	0	0
34 広島	58	47	81.03%	29	5	34	13	11	18.97%	2	9
35 山口	29	29	100.00%	12	6	18	11	0	0.00%	0	0
36 徳島	4	4	100.00%	3	0	3	1	0	0.00%	0	0
37 香川	14	13	92.86%	4	3	7	6	1	7.14%	0	1
38 愛媛	27	26	96.30%	11	3	14	12	1	3.70%	0	1
39 高知	14	10	71.43%	5	2	7	3	4	28.57%	1	3
40 福岡	97	84	86.60%	42	8	50	34	13	13.40%	0	13
41 佐賀	16	14	87.50%	1	2	3	11	2	12.50%	2	0
42 長崎	26	26	100.00%	12	0	12	14	0	0.00%	0	0
43 熊本	32	30	93.75%	13	2	15	15	2	6.25%	2	0
44 大分	23	23	100.00%	10	1	11	12	0	0.00%	0	0
45 宮崎	18	14	77.78%	5	1	6	8	4	22.22%	1	3
46 鹿児島	37	31	83.78%	10	6	16	15	6	16.22%	6	0
47 沖縄	30	27	90.00%	11	5	16	11	3	10.00%	0	3
全国	2,193							134	6.11%	51	83

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当

【参考】一般116 カテテルの算定がないドレーン法（ドレナージ）（持続的吸引を行うもの）の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】持続的吸引を行うことが可能なカテテル等の算定がなくドレーン法（ドレナージ）（持続的吸引を行うもの）を算定しているレセプト件数